部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
●お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照）

部品名	部品番号
中せん	S77-6B
中せんパッキン	567251-00
ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル（10g×4包入り）	SB-ZA01-J

●中せん・中せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
●中せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換（有料）してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

0120-345135
※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ……TEL (06)6356-2451（有料）

●FAXでのお問い合わせ……FAX (06)6356-6143（有料）
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/

象印マホービン株式会社

SV-GR / A

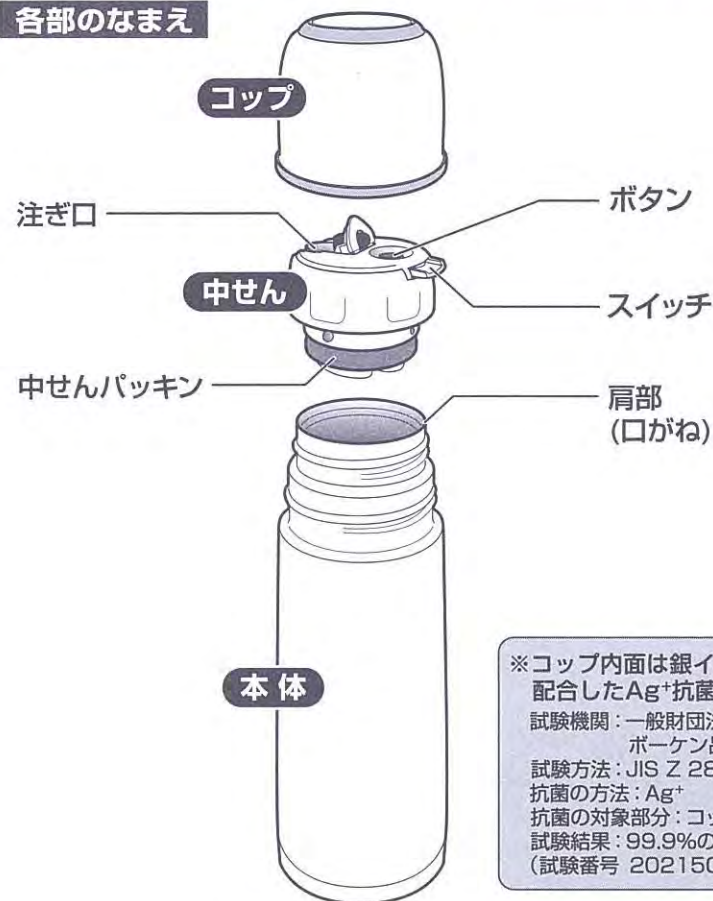
（家庭用）

取扱説明書

ステンレスボトル
SV-GR 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ

※コップ内面は銀イオン（Ag^+）を配合したAg^+抗菌加工コップです。
試験機関：一般財団法人
　　　　　ボーケン品質評価機構
試験方法：JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法：Ag^+
抗菌の対象部分：コップ内面 樹脂部分
試験結果：99.9%の抗菌効果
（試験番号 20215002351-1）

●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらには十分注意する
やけどやけがなど危険です。

コップや中せんを持って運ばない
落とすと危険です。

中せんは確実に閉めて使用する。また、使用後はスイッチを押し、注ぎ口を閉める
漏れてやけどなど危険です。

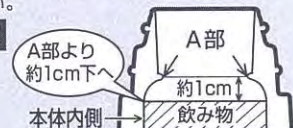
中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れてやけどなど危険です。また車内や衣服を汚す原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

傾けた状態や、顔などの近くでボタンを押さない
飲み物が急に出たり、飛散するなど、やけどの恐れがあります。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せんをはずすときに飛んだり、飲み物がふき出たり、中せん・コップなどが破損して飛散することがあり危険です。

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎますと中せんのボタンがかたくなったり、中せんを取りつける時、飲み物があふれる原因になります。また、中せん内に飲み物が入り、あとから漏れ出すことがあります。入れすぎた場合は少量の飲み物を捨ててから、元通り中せんを取りつけてください。

飲み物の位置

飲み物の保温・保冷以外に使用しない
飲み物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

電子レンジでの加熱はしない
火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

熱い飲み物を入れた場合
- **飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける**
  飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。
- **本体を振らない**
  やけどやけがなど危険です。
- **飲む際にやけどの恐れがあるので注意する**
  断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。
- **直接飲まずに、必ずコップを使用する**
  やけどなど危険です。
- **本体内の圧力が上がり、中せんをはずす際にかたくなることがあります。そのときはボタンを押したあとに、中せんをはずしてください。**
  無理に中せんをはずすと中せんが飛んで、けがややけどの恐れがあります。

次の物は絶対に入れない
- **ドライアイス・炭酸飲料など**
  本体内の圧力が上がり、中せんが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップなどが破損して飛散することがあり危険です。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
  成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せんやコップなどが破損して飛散することがあり危険です。
- **みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの**
  本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- **果肉・お茶の葉など**
  詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

自動車走行中は飲まない
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

お手入れの際は次のことを守る
- **シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない**
  製品を損傷する原因になります。
- **塩素系漂白剤は使用しない**
  さびや穴あき（本体内側）など故障の原因になります。
- **煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない**
  傷やさび・変形など故障の原因になります。
- **丸洗いできますが、つけ洗い（水中に放置）はしない**

使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

スポーツ飲料を入れて使用する場合は、次のことを守ること
- **外出時など十分にお手入れができない場合でも、使用したあとはすぐに本体内側・本体外側（肩部）・中せん・コップをよく水洗いしてください。**
  使用後放置しておくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。
- **本体内側のフッ素コーティングを傷つけないように、柔らかいスポンジなどでお手入れしてください。**
  傷がつくと、さびや穴あきなどの原因になります。

本体外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。

底シール

ご注意とお願い

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

使用後は必ず中せん・中せんパッキンをきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お出かけの時は、ティーバッグなどのご利用をおすすめします。

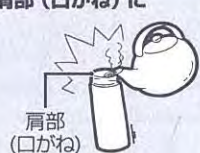
ティーバッグを入れたままで中せんを閉めない
ティーバッグがふくらみ、飲み物が漏れたり、飛び散りの原因になります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

洗浄した中せん・コップに、水が残らないよう数回振り、十分ふき取る
残ったしずくが漏れてくることがあります。

保温時に、コップの内面に水滴がつく（結露する）場合がありますので、ご注意ください。

熱いやかんを飲み口や肩部（口がね）に触れさせない
転倒してやけどなどの危険があります。また傷や変形の原因になります。

使い方

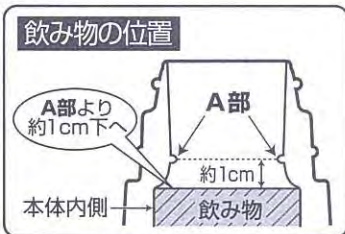
●ご使用前にコップ・中せん・本体内側を、お手入れ方法に従って　十分洗ってください。

中せんパッキンが正しく取りつけられていることを確認の上、ご使用ください。
（飲み物が漏れる原因になります。「P.6,7 **中せんパッキンの取りつけ方**」参照）

1 本体からコップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の方向に回し、
はずします。

2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

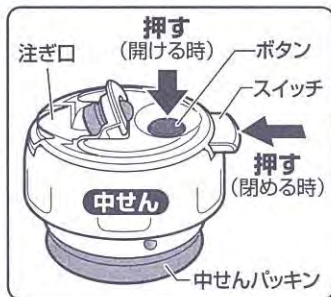
あらかじめ本体内側に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。

飲み物の位置

A部より約1cm下へ
A部
約1cm
本体内側
飲み物

中せんを確実に取りつけます。

●中せんパッキンが正しく取りつけられていることを確認の上、ご使用ください。
（飲み物が漏れる原因になります。
「P.6,7 **中せんパッキンの取りつけ方**」参照）
●本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。
漏れた場合は「P.7 **Q&A**」参照
●注ぎ口は確実に閉めてください。

3 飲み物を注ぐ

①飲み物を注ぐ場合は、本体を立てた状態で中せんのボタンを矢印(⬇)の方向へ押し、注ぎ口を開ける。
②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ。
③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(⬅)の方向へ押して注ぎ口を閉める。

●熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。
（飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。）

●飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉めると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをお守りください。

●飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2〜3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
●コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
●バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。

お手入れ

●ご使用後はいつまでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れをしてください。

本体外側 コップ	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。 ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。
本体内側	①本体にぬるま湯を入れ、中せんをつけた状態で繰り返し湯を注ぐ。 ②中せんをはずし、柄（え）のついた柔らかいスポンジブラシなどに台所用中性洗剤を含ませて洗う。 ③すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる。 ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。

お手入れ時の注意

●煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
●本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
●塩素系漂白剤は使用しないでください。
●丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
●本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。

お手入れ つづき

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せんを取りつけずに30分〜1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。
(P.5、6「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側や中せんにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル 」をご利用ください。(別売品)(P.8参照)
●ピカボトルを使用する場合は、中せんを本体からはずしてください。

■中せんのお手入れ方法

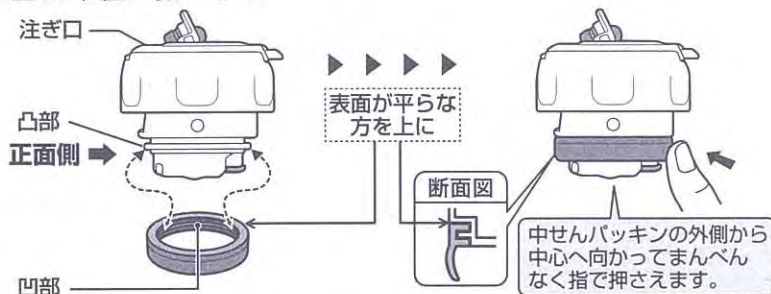
①ボタンを押して注ぎ口を開ける
②中せんパッキンを取りはずす(右図参照)
③ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて中せん・中せんパッキンをそれぞれ洗い、乾燥させる

●洗ったあとは、注ぎ口を開けた状態で数回振り、中せん内に水が残らないようにしてください。表面に残った水分はふき取ってください。
●食器乾燥器などでの乾燥はしないでください。(変形の原因になります。)
●使用後は必ず中せんパッキンをきれいに洗ってください。(カビ発生の原因になります。)

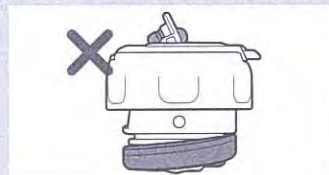
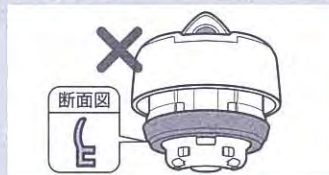
中せんパッキンの取りつけ方

●中せんは分解しないでください。
●中せんパッキンは、正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

①中せんの正面側から先に、中せんの凸部と中せんパッキンの凹部をあわせ、中せんパッキンを正しい位置に取りつける

②周囲を押し込むようにして取りつける

中せんパッキンの取りつけ方 つづき

間違った取りつけ方

●正しく取りつけないと飲み物が漏れる原因になります。

正しい位置に取りつけてください。

上下を間違わないようご注意ください。

Q&A

症状	原因	処置
中せんから飲み物が漏れる	中せん・中せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	パッキンの取りつけ位置や方向・浮きがないことを確認してください。(P.6、7「中せんパッキンの取りつけ方」参照)
	中せん・中せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.6「中せんのお手入れ方法」参照)
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・中せん)がにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せんやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.5、6「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)をするとより効果的です。(P.4「2飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)
中せんのボタンを押したときに「プシュッ」と蒸気が出た	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	